

道德通信 かけ橋

学校・家庭・地域の心のかけ橋

龍野小学校

令和4年10月7日

NO. 4

文責：校長 大江 律子

みんなのことを考えて行動できる子に！

子供たちは、集団や社会の中で生活しています。その中で様々な約束や法、きまりを守ることはとても大切です。

道德教育で身につけさせたい力として、「約束やきまりを守り、みんなが使う物をたいせつにすること」を低学年から身につけさせようと取り組んでいます。中学年は「約束や社会のきまりを理解し、それらを守ること」へと、身の回りから社会のきまりへと広がっています。高学年では、「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと」につながっていきます。

人と人がスムーズな人間関係を築いていく上で、自分が思いのまま行動するのではなく、集団や社会のために自分に何ができるか、何をすればいいのかなど考え、約束やきまりを守って行動することが大切です。

道德の授業では、教師が一方的に「きまりを守りなさい」と指導するのではなく、様々な場面を想定し、子供たちで話し合いながら「なぜきまりを守るのはなぜ大切か」など考えています。一人一人の心を道德の授業でしっかり育てている龍野小です。



低学年のトイレのスリッパ。とてもきれいに並んでいます。みんなで使う物を大切にすることが育ってきています。

道德科の授業紹介 第3学年「みんなのために」みんなのわき水

本資料は、主人公のこうちゃんがふだんはきれいになっているわき水にたくさんの落ち葉が落ちている様子に驚き、「ご自由にお使いください」と札のそばにあったほうきを見て、掃除を始め、その後訪れた親子がおいしそうに水を飲む姿を見つめるというお話です。

3年生では、まずお話を聞き、「自分だったら掃除をする？しない？」という先生の問いかけに「きれいなほうがいいからする」「めんどくさい」など、それぞれが自分の考えを発表しました。立て札を見て、黙っていたこうちゃんの気持ちについて、みんなで意見を出し合いました。

そうじをするかしないかのわけをたくさん発表していきました。水をくむ親子を見て、こうちゃんはどんな気持ちか話し合う中で、またやろうと思った、してよかった、喜んでもらえたから、いままで掃除をしてくださった人の気持ちがわかったなど自分のことだけではなく相手や周りの人のことを考えた意見がたくさん出ました。

今日の時授業で、「今までめんどくさいと思っていたけどみんなで使う場所はそうじをしようと思う」など、発表していました。

3年生の子供たちは、「なぜみんなの使う場所を大切にするのか」についてみんなでしっかり考えた授業になりました。



振り返りを発表する3年生

